

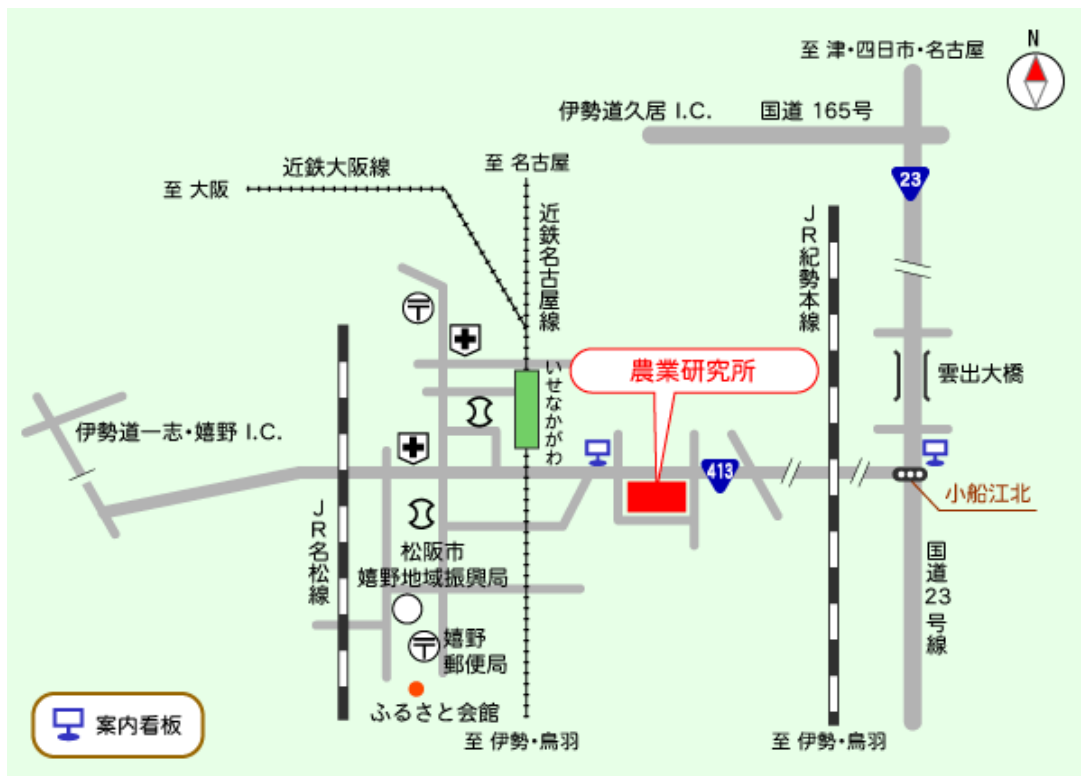
見学会と企画セッションのご案内

第130回例会では、例会前日に見学会を行い、これを受けて例会内で議論を深める企画セッションを予定しています。

1. 見学会

日時：2013年10月31日（木）13時30分頃～17時頃

場所：三重県農業研究所（<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc> 近鉄伊勢中川駅より徒歩15分）



1) 概要

農林水産省「モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業」にもとづく、太陽光利用型植物工場「三重実証拠点」（<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/plant-factory/>）を中心とした見学。当拠点は、ユビキタス環境制御システム、低段密植栽培による高収益生産、イチゴ栽培の周年化、種子繁殖型イチゴ品種の実用化、栽培の自動化・軽作業化などをキーワードに、技術開発・実証から人材育成までカバーしています（2013.1版パンフレットより引用・要約）。

モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業

三重県実証拠点



（拠点HPより引用）

2) 企画委員会からのメッセージ

当拠点は、農水省の植物工場展示実証事業に唯一公設機関として参画し、植物工場における先進的な研究開発の取り組みを、施設園芸の現場にいかにつないでいくかという課題に直面しています。例えば、トマト栽培では高収量を目指した周年栽培での低段密植 3.2 作でのスケジューリングが未確立であること、ユビキタス環境制御システム (UECS) など環境制御の統合システム提案がなされ、対応機種も増えてきているものの、まだコストや利用面で課題が残されていることなどがあります。一方で、植物工場研究は近年、韓国・中国も国レベルでてこ入れをして、輸出産業として育てようとの動きがあります。国際競争という観点からは、植物工場に関連する基礎研究を充実させる必要があります。今回の見学会に合わせ、翌日の例会時に当該テーマで自由に議論する時間帯も設けますので、わが国の植物工場研究の将来に向けて、多士済々の議論の場づくりにご協力願えないでしょうか。

3) 見学会当日の大きな予定

植物工場工場横の会議室に集合、自己紹介

実証拠点の概要説明 (三重県農業研究所)

植物工場の見学

会議室に集合、休憩

三重県農業研究所および参加者からの問題提起および議論

※ 三重県農業研究所での課題の他、様々な観点で取り組まれている各種植物工場の取組事例と課題について問題提起と議論を行います。

※ 平行して企画委員会のほうで、議論になった点をスライドショーにまとめます。参加者の方からは、見学中にデジタルカメラまたはスマホで撮影した画像やお手持ちの画像 (SD カード等) を適宜提供いただきたく存じます。

閉会

4) 参加申し込み方法

支部事務局に 9 月 9 日まで見学会参加 (申込書には学習・討論会となっていましたが読み替えてください) を申し込まれた方は当日現地にお越しください。当見学会は、11/1 の例会にあわせて宿泊される方が参加しやすい時間帯に設定しておりますので、ご都合のつく方は専門の内外・正/学生会員を問わず多くの方にご参集いただきたく存じます。このため見学会に限って、9 月 9 日までの申し込みを済ませていない方でも、参加できる見通しのついた方は、会場や飲物の準備の都合上、10 月 25 日 (金) までに企画委員長：庄司 (shojik@kobe-u.ac.jp) に直接お知らせください。

2. 企画セッション

日時：2013年11月1日（金）15:00～16:00

場所：例会会場（三重大学生物資源学部内）2階大講義室

- 1) 「三重実証拠点」の概要紹介および見学会での論点の提示（企画委員会），質疑応答
- 2) コメントおよび話題提供（三重大学生物資源学部 亀岡孝治教授），質疑応答

なお亀岡先生の話題につきましては，あらかじめ下記を参照願います。

「計測と制御」（計測自動制御学会）2013年8月号特集

「圃場作物の生育モニタリングのためのセンシングデバイス」

以上